

**生研フォーラム**  
**「宇宙からの地球環境モニタリング」**  
**第 1 回プログラム**

日時:平成 5 年 3 月 15 日(月)9:30-17:00

3 月 16 日(火)9:30-17:00

場所:東京大学生産技術研究所第一会議室

港区六本木 7-22-1

平成 5 年 3 月 15 日(月) 9:30-17:00

講演(午前の部) 9:30-12:20

開会の挨拶 (9:30-9:35)

東京大学生産技術研究所所長 原島 文雄

開催の趣旨 (9:35-9:40)

東京大学生産技術研究所 高木 幹雄

1. 東京大学生産技術研究所における気象衛星 NOAA の受信と処理(9:40-10:05)

高木幹雄(東京大学生産技術研究所)

2. NOAA/AVHRR データによる中国森林火災地の監視(10:05-10:30)

堀口 郁、劉 大力(北海道大学農学部)

3. ノートパソコンによる動画システムを用いた AVHRR-GVI による植生区分と気候指標(10:30-10:55)

野上道男(東京都立大学大学院)

4. 衛星データを併用したグローバルな気候データの内挿手法(11:05-11:30)

柴崎亮介、本多嘉明(東京大学生産技術研究所)、伊藤晃之(東京大学大学院)

5. ユーラシア大陸における SMMR 積雪深分布の評価(11:30-11:55)

五十嵐弘道(筑波大学地球科学研究科)、安成哲三(筑波大学地球科学系)

6. 地球規模での森林保全/再生適地度の評価と地球土地利用計画(11:55-12:20)

柴崎亮介、本多嘉明(東京大学生産技術研究所)、阿部功(東京大学大学院)、村井俊治(東京大学生産技術研究所)

講演(午後の部) 13:20-17:00

7. 衛星による海面温度推定値へのピナツボ火山噴煙の影響(13:20-13:45)

斉藤誠一(北海道大学水産学部)、後藤あずみ(日本気象協会)、高山陽三(気象研究所)、竹内章司(リモートセンシング技術センター)

8. 人工衛星による海表面温度の推定における海表面効果の影響(13:45-14:10)

丹波澄雄、横山隆三(岩手大学 工学部 情報工学科)

9. 衛星データを用いた熱帯域の大気海洋間の熱フラックスの変動(14:10-14:35)

根田昌典、今里哲久(京都大学理学部)

10. ERS-1/AMI 散乱計による海上風の計測(14:45-15:10)

江淵直人(東北大学理学部)

11. 海上風場の導出における問題点について(15:10-15:35)

響田邦夫(東海大学海洋学部)

12. EERS-1 SAR 資料による外洋風浪の方向スペクトルの研究(15:35-16:00)

趙朝方、杉森康宏、秋山正寿(東海大学海洋学部)

13. 北半球低緯度 4 月に於ける水蒸気の成層圏への注入過程と光化学反応による成層圏オゾンの減少(16:10-16:30)

松崎章好(宇宙科学研究所)

14. TOMS 画像上における台風に伴った CD 型特徴の統計的性質(16:35-17:00)

竹内延夫(千葉大学映像隔測研究センター)

平成 5 年 3 月 16 日(火) 9:30-17:00

講演 9:30-15:15

15. フレーム画像データに対する大気効果補正アルゴリズム(9:30-9:55)

川田剛之(金沢工業大学)

16. 偏光測光データを用いた大気補正手法の検討(9:55-10:20)

向井苑生、佐野至(近畿大学理工学部)

17. 大気・地形効果補正のための解析モデルとその応用(10:20-10:45)

日下遼、川田剛之(金沢工業大学)

18. チェンマイ近郊における土地被覆の変化抽出(10:55-11:20)

細村宰(金沢工業大学)

19. 地形的特徴と地表温度による地滑り地の推定(11:20-11:45)

鹿田正昭、日下遼(金沢工業大学)

20. 時系列の土地被覆モデルによる広域蒸発散量の挙動(11:45-12:10)

星仰、横小路かおり(茨城大学工学部情報工学科)

21. 衛星観測による OMLET 海域の海面フラックスと熱収支(13:10-13:35)

川村宏、木津昭一、境田太樹、江淵直人、鳥羽良明(東北大学理学部大気海洋センター)

22. Nimbus 7/CZCS 月間平均画像の作成とその CD 化(13:35-14:00)

福島萌、虎谷充浩(東海大学開発工学部)

23. 東北画像データベースの開発と現状(14:00-14:50)

川村宏(東北大学理学部大気海洋センター)、工藤純一(東北大学大型センター)、松沢茂(東北学院大学)、小畑征二郎(仙台電波工専)

24. 地球の環境アルバムとその CD 化(14:25-14:50)

本多嘉明(東京大学生産技術研究所)、梶原康司(千葉大学工学部)、村井俊治(東京大学生産技術研究所)

25. NOAA データ解析パッケージ(PaNDA)の開発と現状(14:50-15:15)

下田陽久(東海大学情報技術センター)

デモンストレーション(15:30-17:00)

(1) NOAA データ解析パッケージ(PaND)

下田陽久(東海大学情報技術センター)

(2) 地球の環境アルバム

本多嘉明(東京大学生産技術研究所)、梶原康司(千葉大学工学部)

(3) 東北画像データベース

川村宏(東北大学理学部大気海洋センター)

(4) Nimbus-7/CZCS 月間平均画像

福島萌(東海大学開発工学部)